



# 月出小だより

令和5年10月4日

第6号

文責 校長 酒井 志郎

## 6年生にとって成長のチャンス到来

月出小学校6年生にとって、この10月はとても充実した1か月になります。それは10月3日～4日は修学旅行、28日には運動会が実施されます。修学旅行では長崎に行き、1日目は語り部さんの話やフィールドワークを通して原爆の悲惨さを学び、二度と戦争をしてはいけないという強い思いを持ち、全員で平和集会に臨み、平和を誓いました。2日目はハウステンボスでの班活動があり、集団で行動することの大切さを学びました。この修学旅行期間中に友達同士の絆を深め、思い出に残るものになったと思います。また運動会では、6年生が応援団の団長及び様々なリーダーとして1年生から5年生の児童を引っ張って、勝利に向けて一致団結して頑張っていくことになっています。6年生は月出小学校での最後の運動会になります。悔いの残らないように頑張ってもらいたいと思っています。私が4月から言っている「行事を通して児童が成長する月出小学校」を実現させたいと思います。ご支援の程よろしくお願いいたします。

## 最近の心配事とお願い

2学期に入り、多くの児童が元気に学校生活を送っていますが、中には、周りの児童から嫌なことを言われたりしてきつい思いをしている児童もいます。とても残念に思います。最近テレビやインターネット上などでは「死ね」「うざい」などの言葉が多く聞かれたり、見られたりしており、月出小学校の児童にも大きな影響を与えているようです。私たち教職員も児童の言動を注意深く観察し、また根気強く指導を行っているところです。私も今回、2日間にわたり昼の放送で以下のような呼びかけをしました。

これからみんなが楽しく学校生活を過ごすために次のことを守ってください。これは私がいつも集会などで言っていることです。

- ①自分が言われて嫌なことは、人に絶対言わない。例えば「死ね」「うざい」「ばか」「あほ」など
- ②自分がされて嫌なことは相手に絶対しない。例えば「暴力」「他の人の物を壊すこと」「いじめ」など

もし人を傷つけるような言葉を言ったり、嫌なことをした場合は、先生方は強く注意と指導を行います。月出小学校の皆さんならできるはずです。頑張ってください。

この言葉の問題は学校だけでなく、家庭や地域と連携しなければ解決しない課題だと思っています。そこで保護者や地域の方にはお願いです。もしこのようなことが家庭や地域で見られた場合は、注意と指導をしていただければと思います。皆様にはより良い学校の言語環境づくり、温かいつながりのある学校と地域づくりのためにご協力の程よろしくお願いいたします。